

1 教育目標

(1) 本校の教育目標

心身共に健康で、自ら学び考える、たくましい富士っ子を育成する。

めざす富士っ子



なかよく (徳) 思いやりの心で、人のために つくす子	かしこく (知) よく考え、進んで学ぶ子	たくましく (体) 心や体をきたえ、たくましく 生きる子
生命を尊重し、社会のルールやマナーを身に付け、共感し合う人間関係を築かせる。	課題解決に向け、意欲的に学ばせ、学んだ力を活用して、継続的に取り組ませる。	体力や健康の増進を積極的に進め、たくましく生きる心や体の充実を図る。

「命を大切に 命を輝かせて」生きる児童の育成

(2) 経営方針

全職員が、共に学び合える「高きに和する集団」のもと、共通理解と協力体制を基盤とし、職員、児童、保護者、地域が信頼関係で結ばれた「魅力のある信頼される学校づくり」を推進する。

- ア 確かな学力の育成を目指し、個に応じた「わかる・できる・身につく」授業づくりをすすめる。
- イ 豊かな心の育成を目指し笑顔で生活できる学校・学級づくりや心の居場所づくりをすすめる。
- ウ 健やかな体の育成を目指し、生涯にわたって運動に親しむために、指導の充実を図る。
- エ 学校運営協議会を核として家庭や地域と連携・協働し開かれた学校づくりをすすめる。
- オ 子どもたちに効果的な教育活動を行うことができるよう、働き方改革をすすめる。

(3) 本年度の重点努力目標

ア「確かな学力」の育成

- ・ 基本的な学習のルールや「学習マナー6か条」を意識させ、学ぶ姿勢を育てる。
- ・ 目的を明確にしたペア・グループ学習など対話的な学びにより、主体的に学ぶ姿勢と、深い学びに向かう思考力・表現力を育成する。
- ・ プログラミング教育を充実させ、プログラミング的思考力の育成を図る。
- ・ ICT機器の活用や新聞活用の活動を充実させ、情報社会に適應する基礎的資質を育てる。
- ・ 漢字の読み書きや語彙力、計算力などの基礎学力の定着を図る。
- ・ 効果的な学び方についての手立てを習得させ、家庭学習と読書の習慣づけを図る。
- ・ 通級指導や特別支援教育の充実を図り、個に応じたきめ細かな学習指導に努める。

イ「豊かな心」の育成

- ・ 子どもたちとの関わりを大切に、一人一人を認め、温かい学級・学年づくりを図る。
- ・ あいさつや言葉遣いなど、社会的なマナーや礼儀正しい姿勢を身につけさせる。
- ・ 道徳教育や読書・読み聞かせなどの読書活動を充実し、心豊かな人間性を育てる。
- ・ 異学年交流活動を通して思いやりの心を育み、人間関係を豊かに築く力を育てる。
- ・ 「聴く」「認める」に基づく児童との関わりや相談活動の充実により、児童との信頼関係を構築し、不登校・いじめの未然防止に努める。
- ・ SDGsと関連付けた活動をすすめる。

ウ「健やかな体」の育成

- ・ 体力向上をめざし、体育の授業や放課を利用し、運動や外遊びに親しませ、運動の習慣化を図る。
- ・ 歯磨き指導や食に関する指導を工夫し、健康な体づくりに心がけさせる。
- ・ 生活安全、交通安全、災害安全などKYTによる具体的な行動場面を考えさせ、命を大切に、自ら安全に行動できる態度や習慣を育てる。
- ・ 感染症対策や「早寝・早起き・朝ごはん」など、家庭と協力し良い習慣を身につけさせる。

エ「信頼される学校づくり」をめざして

- ・ 学校運営協議会を通して、保護者・地域からの意見を教育活動に生かし、学校・家庭・地域が連携・協働して魅力ある学校づくりに努める。
- ・ 学校ウェブサイト等で積極的に情報を発信し、開かれた学校づくりに努める。
- ・ 地域での学習を通して、日本の文化と伝統に対する理解を深める。
- ・ 校内現職教育を計画的に行い、教職員の資質・能力の向上と専門性の

オ「学校における働き方改革」について

- ・ 多忙化解消に関わる業務改善に努め、業務の役割分担と適正化を図る。
- ・ 風通しのよい、働きやすい職場環境を作る。